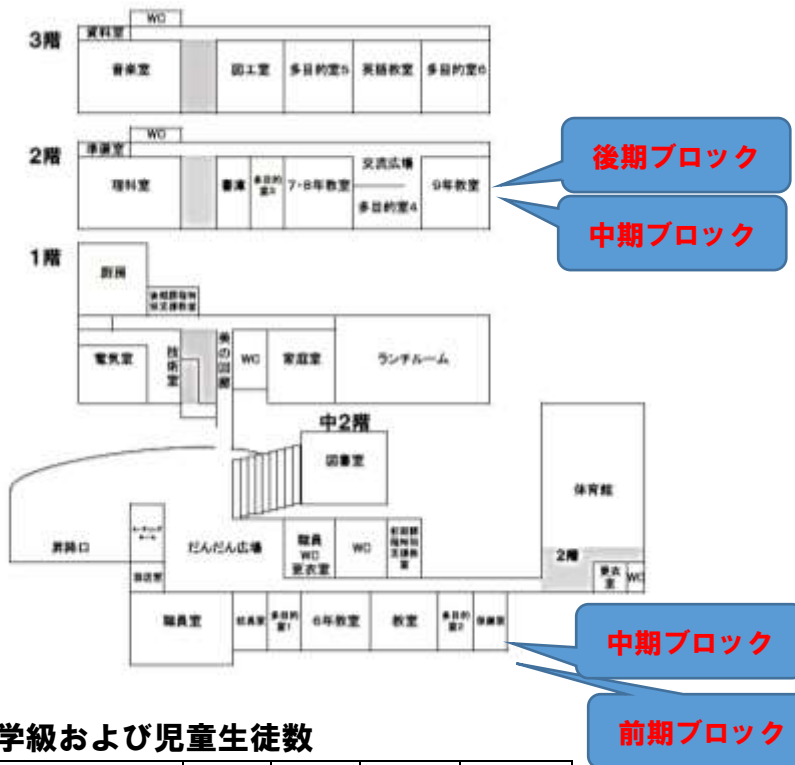


○校舎平面図



○学級および児童生徒数

学年	男子	女子	計	PTA 会員
2年	0	0	0	0
4年	0	0	0	0
5年	0	0	0	0
6年	1	1	2	1
7年	0	1	1	1
8年	0	1	1	0
9年	1	0	1	1
合計	2	3	5	3

※PTA会員数は、長子のみ記載

○沿革

西部小学校	大谷中学校
S46.4 高屋小、馬縹小、大谷小を統合し西部小学校創立	S22.4 西海村立大谷中学校創立
S47.4 清水小を統合	S23.5 飯田高等学校大谷分校設置（併設）
S47.7 西部小学校落成式	S23.5 清水分校設置
S50.7 ヴィニョーレス氏来校	S24.9 清水分校校舎竣工
S62.8 第1回揚げ浜塩田体験	S26.4 飯田高等学校大谷分校廃止
H3.6 ヴィニョーレス氏来校	S29.7 珠洲市立大谷中学校と改称
H6.7 校舎大規模改造工事	S33.8 清水分校廃止し清水教場を置く
H7.7 屋内体育館大規模改造工事	S34.6 校舎落成式
H21.2 フェルナンデス氏来校	S40.2 体育館竣工
H25.9 ヴィニョーレス氏来校	S47.9 プール新設
H26.4 子どもの読書活動優秀実践校文部科学大臣賞受賞	S58.2 校舎改築
H27.11 日本PTA全国協議会優良PTA表彰	
H28.3 校舎落成式	
H28.4 西部小、大谷中を統合し義務教育学校として大谷小中学校創立	

○週時程

1~6年	月	火	水	木	金	7~9年
8:10	職員朝礼	職員朝礼	職員朝礼	職員朝礼	職員朝礼	8:10
8:15	朝自習	スキルタイム	集会	1~6年 スキルタイム	7~9年 朝読書	8:15
8:25						8:25
朝の会						
8:35	1限					8:35
9:20	休み時間					9:25 (10分)
9:35	2限					9:35
10:20	休み時間					10:25 (10分)
10:35	3限					10:35
11:20	休み時間					11:25 (10分)
11:35	4限					11:35
12:20	給食					12:25
12:50	休憩					12:50
13:35	掃除					13:35
予給13:30 掃除終了13:45(ノーチャイム)						
13:50	5限					13:50
14:35	休み時間					14:40 (10分)
14:50	6限	4・5年委員会クラブ	6限			14:50
15:35	終礼					15:40
15:45	下校					16:10

○職員組織

	職名	氏名	主な校務分掌	担任等	職名	氏名
後期	校長	鎌田 壽	校務全般		校務員	小木 雅電
後期	教頭	貞弘 佳彦	校務全般・PTA		ALT(前期)	オオタ・ツリアン
前期課程	教頭	直川 歩希	研究主任・生徒指導主任・道徳指導教頭	6年担任	ALT(後期)	カンパ・ジェーン・アキル
	教頭	大澤あゆみ	教務主任・OJGA校内研修推進リーダー	6年新担任	20・21のび	高野 勉
	主任講師(兼務)	青木 和夫	珠洲小学校との連携・月・火運動部	理科	保健指導	池 じゆ美
後期課程	教頭	宮澤 大夢	道徳指導主任	7・8年担任	校長	道下 秀信
	教頭	小町 佳史	教務主任	7・8年新担任	保健科医	横田 耕
	教頭	南 暎史	研究主任・OJGA校内研修推進リーダー	9年担任	教科医	中谷 静子
	教頭	井関 美穂	生徒指導主任・若プロ	9年新担任	美術師	豊野 暁
	再任用教頭	作田 善久	学校図書	9年新担任	学校評議員	丸山 忠次
	兼課教頭	藤兵衛あゆみ	保健・健康教育		学校評議員	和田 大太郎
	事務主任	木下 早岐	庶務・財務・厚生		学校評議員	横ヶ平 好雄
再任用教頭(兼務)	正木 晴香	宝立小中学校との連携・火災運動部	美術			
教頭(兼務)	下道 香佳	三崎中学校との連携・木製部	音楽			

○所在地



学 校 要 覧



大谷小中学校 校歌

作詞 高田 英俊
補作 高田 英俊
作曲 濱 育代

一 朝陽に光る 西海の
碧い海原かもめ飛ぶ
潮の香かおる 大谷に
集う健児の 意気高し
元気に明るくたくましく
のびゆく学舎 創りなむ

二 歴史も深き 十の里
紅染める やぶ椿
花の香かおる 大谷に
学ぶ健児の 意気高し
強く正しく寛らかに
のびゆく学舎 創りなむ

三 永久に輝く 北斗星
漆黒照らすは 月明かり
風の香かおる 大谷に
生きたる 健児の 意気高し
夢と人の和 誇らかに
のびゆく学舎 創りなむ

*平成二十八年四月制定



義務教育学校
珠洲市立大谷小中学校

〒927-1321 石川県珠洲市大谷町1字78番地
TEL (0768) 87-2016・2019 FAX (0768) 87-2018
E-mail ootani@city.suzu.lg.jp

未来につながる確かな学力を身につけた児童生徒

- 根拠や筋道を明確に表現させる授業づくり
 - ・少人数の効果的な学習の在り方の追究
 - ・「わかる授業」の徹底
 - ・思考や過程がわかる書き方や書く内容を明確に示すなど、ノートやワークシート指導を充実
 - ・相手を意識した「話す力」「聞く力」の習慣化
 - ・「話す場面」の意図的設定
 - ・学習課題や板書、学習形態等を工夫し、話し合い学習の内容を充実させる
 - ・児童生徒の思考を可視化するのに役立つツールとして、タブレット端末の活用推進
- 奥能登スタンダードの日常的活用
- 「学力向上ロードマップ」の実行と「学力向上プラン」を修正しながら確実な学力の定着を図る
 - ・組織的な定着率アップの実践
 - ・家庭学習の在り方の研究
 - ・経年結果分析や学級分析による効果的指導法の研究
- 授業研究の充実のために
 - ・後期課程教員による前期課程への授業実施（乗り入れ）
 - ・ミニ授業の積極的実施
 - ・金沢大学学校指導アドバイザー事業の活用
 - ・模擬授業・指導案検討会の推進
 - ・カード式整理法による授業整理会の推進（「次の一手」の明確化）
- 読書活動をより促進・充実させる方策の具現化
 - ・並行読書を中心とした図書館利用年間計画の見直し
 - ・国立国会図書館国際子ども図書館や環境省「生物多様性の本箱」利用、石川県立図書館の学校図書館支援サービス、読み聞かせボランティア、学校司書等との連携の強化
 - ・家読（うちどく）の推進
 - ・図書室環境の充実

自らの健康と安全に積極的に取り組む児童生徒

- 学校における安全教育の充実
 - ・実践的防災教育総合支援事業の活用
 - ・危機管理マニュアルの見直し
 - ・新校舎での避難訓練の積極的実施
 - ・地域を巻き込んだ避難訓練・研修会の実施
 - ・アレルギー対応の研修の充実
 - ・児童生徒視点での安全点検の実施
 - ・防災や防犯に関する学習機会の充実
- 学校給食を核とした「食育」の推進
- 家庭と連携した基礎的・基本的生活習慣のより一層の充実
 - ・元気もりもりチェックの実施（隔月）
- 保健活動及び保健指導の更なる推進

4・3・2制の実施

義務教育9年間の一貫性・継続性を大切にしながら、発達段階に合わせた3ブロック制を採用しています。

前期ブロック

1・2・3・4年

学習規律や習慣の確立を図り、各教科の基礎・基本を習得させる時期

中期ブロック

5・6・7年

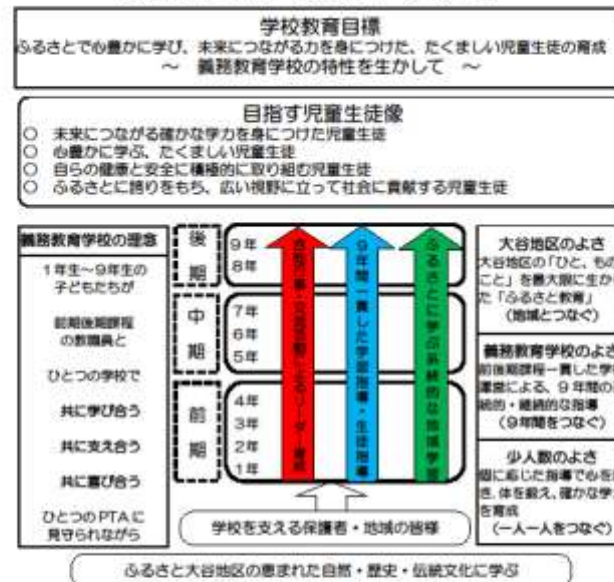
基礎基本を定着し、習得した知識・技能を活用させる時期（一部教科担任制）

後期ブロック

8・9年

習得した知識・技能を活用し、学習内容を深く探究させる時期（教科担任制）

大谷小中学校 グランドデザイン



	前期ブロック 4年生ブロックリーダーとして 【学習や生活の基礎づくり段階】	中期ブロック 7年生ブロックリーダーとして 【前後期課程接続の強化段階】	後期ブロック 9年生ブロックリーダーとして 【義務教育学校の充実段階】
重点 指導 内容	<ul style="list-style-type: none"> ○基本的な生活習慣の確立（挨拶、掃除、早寝早起き、朝ごはん） ○基本的な学習習慣の確立（話し方・聞き方、学習用具の準備、家庭学習の仕方） ○指定ことば（大谷保寿所）との交流・連携 	<ul style="list-style-type: none"> ○教員の専門性を生かした授業づくり ○教科の特性を踏まえた系統的学習 ○学習意欲の向上 ○自主・自らの態度の育成 ○自己評価力の育成 ○他校との交流・連携 ○地域との連携強化 	<ul style="list-style-type: none"> ○個性・能力の一層の伸長 ○社会性・表現力の育成 ○道徳目標の実現 ○生徒会活動・学校行事等を通じた学校リーダーの育成（自己有用感の向上） ○他校との交流・連携 ○高校との交流・連携 ○地域との連携強化

義務教育学校の特性を生かした教育課程・指導体制

義務教育学校だからこそできる教育課程・指導体制による教育活動を行っています。

教育課程・指導体制

- ・系統性を踏まえた各教科での指導
- ・教員の乗り入れによる指導
- 5年（社会・理科・体育・英語）
←後期課程教員が指導
- 7～9年家庭←前期課程教員が指導

早期英語教育の充実

- ・1年生からの外国語活動
1・2年10時間（教育課程外）
- ・5年生からの英語
後期課程の生徒による前期課程に向けてのスピーチ→全員のスピーチ活動

ふるさとと珠洲科

- ・1～9年生で系統的に実施
- 1・2年 生活科で10時間
- 3～6年 総合で35時間
- 7～9年 総合で35時間
- 「まちの先生」（本物）に学ぶ

多様な交流活動

- ・1～9年生までの全校による活動
- ・ブロック制を生かした活動
- ・前後期の課程別での活動
- ・義務教育学校間交流

ふるさとに誇りをもち、広い視野に立って社会に貢献する児童生徒

- 知識の習得や理解にとどまらず、地域の一員として自ら行動できる人材の育成
 - ・自然を観察し、自然を理解する活動の推進
 - ・地域の一員として自分（自分たち）にできることの追究
- 里山里海をいかした「ふるさと教育・ふるさと学習」の充実
 - ・外部講師（町の先生）の活用
 - ・文化や風土を生かした体験活動（塩田体験、平家の郷交流、珠洲の生き物観察会等）の推進
 - ・総合的な学習の時間の実践と検証
- 「いしかわ学校版環境ISO」の更なる推進
 - ・学校版アクションプランの計画的な実施
- 「ふるさと再発見、里山里海教育推進事業」の計画的な実施
- 伝承音楽（きりこ太鼓や横笛）の継承と発表場面の設定
- 家庭や地域とのコミュニケーションを促進させる。
 - ・学校評価の実施と活用の充実
 - ・地域の各種団体との連携の強化
 - ・学校を地域に開き「学びの共同体」としての学校づくりを推進。広く情報を公開する
 - ・学校日より、学校ホームページによる情報発信

心豊かに学ぶ、たくましい児童生徒

- 多様な異学年交流の実施
 - ・月1回のブロック集会
 - ・月1回の全校生集会の実施
 - ・4年生、7年生、9年生中心の縦割り班企画の実施
 - ・児童生徒会を中心とした全校行事
 - ・学年枠をとりはらっての清掃反省
 - ・教科授業の交流（異学年児童生徒による授業参観）
- 道徳推進教師を中心とする道徳教育の充実
- 「私たちの道徳」や地域教材などの開発と活用
- 他地区、他校との交流場面を意図的に設定、集団としての関わる力を育成
- 体験活動を重視した豊かな心を育む教育の推進
- 後期課程の「いじめを見逃さない学校づくり」の具体的実践と「いじめのない学校づくり子ども会議」での発表
- 児童生徒の実態に即した「体力向上プラン」の策定と全学的な取り組みの強化
- 募金活動の充実